

おさそい



わが子・教え子を再び戦場に送るな！

— 憲法・平和・教育を守る —

1次案内

第46回鹿児島県母と女性教職員の会

憲法や教育基本法を変えようとする動きが進行しています。

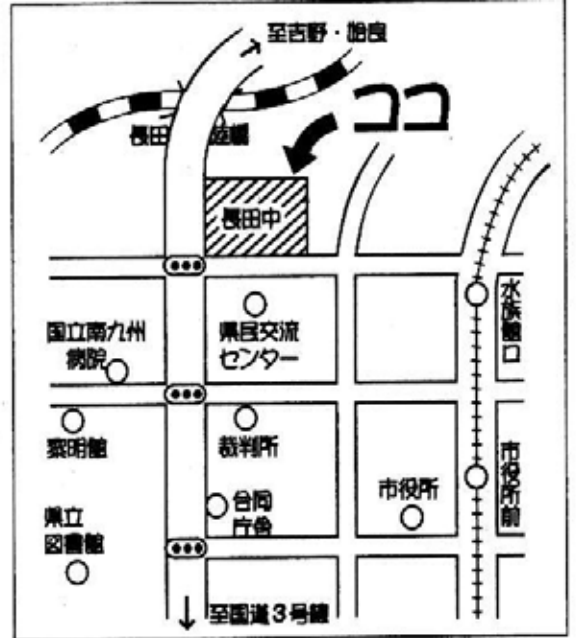
人は誰でも「個人の尊厳」(プライド)が尊重される権利を持っています。それは性別や老若、国籍や住む地域、経済力や生まれた家庭環境にかかわらず、すべての人にあてはまるはずのもので、それを謳っているのが憲法であり、現代の教育基本法です。

私たちは、人権・平和を守り、子どもたちが生きる社会が公正で平等な社会になるよう希望を見出したいものです。

とき 2006年11月19日(日)
9時30分 ~ 16時

ところ 鹿児島市立 長田中学校
鹿児島市小川町3-10

日程	受付	9:30~10:00
	開会行事	10:00~10:30
	講演	10:30~12:00
	昼食(分科会打ち合わせ)	12:00~13:00
	分科会	13:00~15:30
	閉会(分科会ごとに解散・後片付け)	



分科会	
1	学校と子ども(小学校・中学校)
2	子どものいのちと環境の問題
3	平和のもんだい
4	女のもんだい
5	母と女性教職員が手を結ぶ地域活動

上履きをご準備ください。
未就学児の託児所あり。
(おやつ代・保険料含む 200円)
なるべく公共交通機関をご利用ください。

講演

「分断されないで生きる - 経済・労働の視点から - 」(仮題)

講師 竹信 三恵子 さん

(朝日新聞東京本社生活部記者)

竹信三恵子さん プロフィール

ジャーナリスト/朝日新聞記者。暮らしや労働に関わる報道や取材を精力的に行い、全国に発信。女性にとっても男性にとっても人間らしい持続可能な働き方や、女性政策のあるべき方向を模索し続ける。

主な著書:「女の人生選び」「『家事の値段』とは何か」「日本株式会社の女たち」「ワークシェアリングの実像」



主催: 鹿児島県教職員組合

099-223-8345